



内子町に吹く新しい風、地域おこし協力隊——。
それぞれの思いを胸に、3人の若者が内子町に移り住みました。
まだまだ手探り状態ですが、内子町のために頑張っています。
皆さんの温かいご支援をお願いします。



特集

地域おこし協力隊、
はじめました。

感謝の気持ちを、地域への貢献でお返ししたい

横浜市から来ました山内です。佐川急便で働く傍ら、世界中を旅したり、お遍路を歩いたりしていました。カンボジアの学校づくりの手伝いをしたこともあります。

コミュニティーデザイナーという、地域の素材と人とを結んで町をおこす職業に憧れ勉強していたところ、地域おこし協力隊を知りました。お遍路の途中で、偶然内子町の100円商店街が開かれていて、とても良い印象が残っていたことが応募

のきっかけとなりました。

小田地区に来て、地域の人や魅力を知るたびに、やってみたいことが増えています。一つ一つを実現するために、まず地域の人たちと仲良くすることが大切だと思います。早く顔を覚えてもらえるよう、いろいろな活動に参加したいです。

お遍路では、お接待を受けた感謝を、誰かに返す大切さを学びました。今の感謝の気持ちを、皆さんに少しでもお返ししていきたいです。



山内 大輔さん
(32) = 中川西 =
勤務先：小田自治センター
趣味：サッカー、登山、
音楽イベントに行くこと、キャンプ



世善桜まつりに参加しました



エチオピアの子どもたちと

内子町の皆さんはじめまして、私たち「地域おこし協力隊」です。

地域おこしを手伝ってくれる若い人材が、内子町に移り住みました。

町に新しい風を吹かせてくれる「地域おこし協力隊」——。

これから、彼らと活動する地域の人たちも増えてくると思います。

協力隊はどんな人たちなのか、内子町にどんな思いを持っているのか——。まずは自己紹介

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は21年度に国がつくった制度で、人口減少や高齢化が進む地方が都会から若者を呼び、定住・定着の支援をしながら地域の活性化に貢献してもらうという仕組みです。

全国の318自治体で導入され、隊員数は978人にのぼります。愛媛県内では今治市、上島町など5市町で26人が活躍しています。(25年度現在)

内子町が制度を導入

内子町においても過疎・高齢化の波は大きく、担い手不足に悩んでいる地域やコミュニティの維持が困難になってきている地域があります。今後は持続的な地域づくりを進めるための仕組みの創出、それを担う人の存在がますます重要になります。そのため新しい風となる「地域おこし協力隊」を導入し、地域の維持・活性化を図ります。

3人の地域おこし協力隊

4月から3人の地域おこし協力隊が内子町に移り住み、地域活性のための取り組みを始めました。どんな人たちがやってきたのか、紹介します。

お世話になった町の力になりたい

岡山県里庄町から来ました渡邊です。前職は家具の販売員です。インテリアコーディネーターなどの資格を生かして、部屋全体の家具選びのお手伝いをしていました。

学生時代に石畳地区を題材に卒業論文を作成したので、内子町には何度も訪れていました。お世話になった内子町の力になりたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

旅行や音楽が好きで、学生時代はバンド活動もしていました。ベース

がほしいバンドがあれば、ぜひ誘ってください。

勤務は「まちの駅なんぜ」です。職人の皆さんとのつながりが店の利点。勉強しながら、若い人もほしがる商品を一緒に考えたいです。

普段は店内にいますが、地域の力になれることは、どんどんやりたいと思っています。多くの人たちと関わっていききたいので、声を掛けてもらえたらうれしいです。「まちの駅なんぜ」にも遊びに来てくださいね。



渡邊 真弓さん
(29) = 内子17 =
勤務先：まちの駅なんぜ
趣味：音楽、テニス、旅行



初めて考案した製品。木製のコースター



旅行が大好き。登山もします

人のために生きたくなる町

神戸市から来ました渡邊です。以前は通信業界で仕事をしていました。自然に囲まれながら、自分で食べ物を作る生活をしたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

特技はパスタ料理とカメラです。カメラの腕を生かして地域の風景・行事・人の魅力を発信したいと思います。レンズを向けても逃げないよう、お願いします。

内子町で畑と家を手に入れて、農的な暮らしをするのが夢です。御

祓、重松地区を中心にグリーンツーリズムの活動を広げることが課題と聞いているので、地域の人たちに農業を教わりながら、みんなが楽しく過ごせる仕組みを考えたいです。

雨が降っても気持ち良かったり、地域の人と楽しい酒を飲んだり、都会ではなかった「地域と人のために」という気持ちを強く感じています。

集まりがあれば参加したいので、気軽に誘ってほしいです。熱い気持ちで頑張ります。



渡邊 智彦さん
(34) = 成内 =
勤務先：五十崎自治センター
趣味：カメラ、映画鑑賞

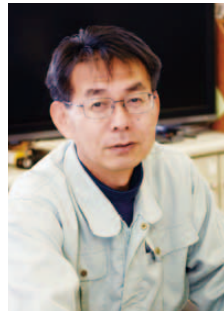


御祓自治会のソフトボールチームに参加



趣味のカメラはプロ級の腕前

情報の発信力が 課題解決の糸口



(渡邊智彦さん
の勤務先)

五十崎自治センター館長
上石 富一さん

五十崎自治センター管内では、グリーンツーリズムの普及や閉校した御祓小学校校舎の活用が課題です。渡邊さんが、私たちも知らない地域の魅力をどんどん発信することで、課題解決の糸口になると考えています。

皆さんには、彼の活動を温かく見守ってほしいと思います。世間話でもいいので、地域のことや自分のことを話してあげてください。きっと渡邊さんの力になるし、地域の魅力を上手に発信してもらえと思っています。

新しい風によって、何か新しいことが始まると期待しています。

内子らしい贈り物 外の目で魅力的に



(渡邊真弓さん
の勤務先)

内子まちづくり商店街協同組合代表理事
大西 啓介さん

内子まちづくり商店街協同組合では、まちの駅なんぜの運営など商店街の活性化に取り組んでいます。商店街では年々、売り上げや観光客数が減少。生き残りをかけた活動が続いています。

渡邊さんには、内子町の魅力が詰まった贈り物の開発とネット販売を任せたいと考えています。デザイン経験と外からの目を生かして、内子らしい商品と包装を提案してほしいです。

協力隊の力を借りることで、可能性の広がりを感じます。一つの事業を成功させることは大変ですが、一緒に頑張りましょう。

世界中を旅した目で 地域に元気を



(山内大輔さん
の勤務先)

小田自治センター館長
久保宮賢次さん

小田地域の人口は、合併した年から約4分の1減っています。地域おこし協力隊を募集したのは、その危機感があったからでした。人口を増やすのは難しいですが、地域に活気を取り戻す活動を一緒にしたいと考えています。

山内さんは物おじしない性格で、すぐ地域になじめそう。若い人たちとのつながりを大切に、楽しく活動してほしいです。世界中を旅した経験を生かして、小田の魅力を発掘してください。

小田自治センターも彼の活動を支援していきます。地域の皆さんも、ぜひご協力ください。

🍀 共に新しい風をおこそう

地域おこし協力隊の任期は3年——。

過疎・高齢化を考える貴重な時間になると思います。

大切な時間が無駄にならないよう、多くの人が感心を持つことも大切です。

協力隊員と一緒に考えて、動いて、さらに大きな風をおこしましょう。

任期は3年

地域おこし協力隊には、3年の任期があります。この3年の間に地域の皆さんと協力隊員が共に、地域づくりに取り組むことが重要です。

協力隊員のような若者が、地域に定着して住み続けることが、「持続的な地域づくりの仕組みをつくる」という課題の一つの解決法。3年のうちにまいた種が、芽を出し実を付けるにはどうすればいいのか。若者が集まり、定住・定着ができる地域にするにはどうすればいいのか。一緒にじっくりと考えましょう。

地域に与えた元気と勇気

自治会活動などを中心に、さまざまな地域づくりが広がる内子町。協力隊の3人は、その活動を知ったことが応募のきっかけとなりました。頑張る地域の皆さんが、町に新しい風を呼んでくれたのだと思います。

まだまだ頑張るといふ地域の姿は、多くの人の心に響いています。それを行動で表した3人は、地域に元気と勇気を与えてくれました。そして彼らとの活

動がまた、地域に新しい風を呼び込むことが期待されます。

これからの内子町の未来のために、協力隊員との活動がはじまります。

地域おこし協力隊の活動が見られます



協力隊員の活動やイベントの情報がFacebookで見られます。広報うちこにも載っていない、地元の話題が満載です。

地域おこし協力隊と交流を深めて情報交換をすれば、互いに地域の隠れた魅力を発見できて楽しいと思います。ぜひ、ご覧ください。

📄 <https://www.facebook.com/uchiko.chiikiokoshi>
←Facebookの画面